

令和7年 1月28日

関係者各位

沖縄県立宮古総合実業高等学校

校長 千葉 直史

令和7年度県立宮古総合実業高等学校入学生の1人1台端末県指定基本ソフト（OS）について（通知）

沖縄県教育庁では、これまで県立高校の生徒に対し、高校入学時に3つの基本ソフト（OS）から選んで購入してもらっていましたが、先般、県立高校1人1台端末基本ソフト（OS）選定委員会で審議した結果、令和7年度入学生の1人1台端末を“原則”「Chromebook」へ、指定基本ソフト（OS）を「ChromeOS」とすることを決定しました。他方で、例外として、各学校の学科の特性により学校指定端末としてWindowsOSまたはiPadOSを指定できる特別の理由がある場合は、その他のOSを選択することができるとされています。そこで、宮古総合実業高等学校では、令和7年度入学生徒の1人1台端末と基本OSを下記のように学科ごとに決定しましたので、ご承知おき下さい。

記

1. 海洋科学科 生物生産科 生活福祉科 商業科

1人1台端末：Chromebook 指定基本ソフト（OS）：ChromeOS

2. 食と環境科（環境クリエイトコース・フードクリエイトコース）

1人1台端末：iPad 指定基本ソフト（OS）：iPadOS

【食と環境科において1人1台端末をiPadと基本OSをiPadOSとする特別の理由】

食と環境科の授業において、学科特有の高度な知識・技術を学ぶにあたり、複雑な公式を用いた計算（分数等）を使用する上で、iPad 端末はタッチペンを使用した際にノートに記入すると同じような感覚で利用できる点、また実習時や圃場、屋外等での学習において、タブレット型端末なので持ち運びしやすく、あわせて端末がChromebookと比較して起動の面で即時性があるという点で、iPad 端末の方がChromebookよりも利便性がかなり高く、効率的・効果的に学習を進めることができる。

また iPadOS は、教育アプリの豊富さやオンラインの学習も充実しており、学科特有の専門的な資格取得や高度な知識・技術の修得に対してもより効率的・効果的な学習を進めることができる最適なツールである。

あわせて、iPad 端末では、高等学校卒業後も進学・就職先での資料作成、スケジュール管理、プレゼンテーション作成・発表など、様々な面で活用可能であり、さらには今後のiPadOSのバージョンアップに合わせた利便性と多機能性を活かし、さらなる学習を進めることもできる可能性を持っている点でも最適なツールである。

あわせて、これまで同様、令和7年度の端末購入補助金（15,000円）は県指定及び学校・学科での指定基本ソフト（OS）のみに補助される予定である事もお知らせ致します。（令和7年1月28日現在）